

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和6年2月6日

公表:令和6年2月12日

事業所名 たまりばアジュール

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		活動によって部屋を分けている。	
	2	職員の配置数は適切である	7			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7		職員会議等で改善点・目標設定・進捗確認・変更など話し合っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		アンケート結果を基に保護者の意向に沿うように改善策を職員で話している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	7		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		社内研修・社外研修・ZOOMでの研修等に参加出来るようにしている。参加した職員が事業所内で研修内容を他職員と共有するようにしている。	今まで受けた研修内容であっても初心に立ち返られるよう出来る限り参加していく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7		保護者と面談の上、ニーズや優先すべき課題に沿った計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		職員全員から意見を聞き決定している	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		活動を振り返り、改善点やより楽しめるものがないか話し合いをしている、季節を感じられる行事を入れるようにしている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7		学校行事等も考慮し取り組み易いもの・環境が提供出来るようにしている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7		それぞれの特性に合わせた集団活動への参加目標・個別活動の時間を確保することを考えて計画を作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		非常勤職員の出勤時間がギリギリで打ち合わせを全員で行えないが見てわかるように提示してある。	出来る限り対面で確認・伝達をする。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	2	翌日の支援に関わる事で気になる事があった際は、その日のうちにメモや電話で伝えるようにし必要であれば保護者へ連絡をする等して対応出来る様にしている。	非常勤職員が先に帰ってしまう時の支援終了後の伝達。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		毎日の活動の様子を記録し、ミーティングの際話し合いをするようにしている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7		6ヶ月を目安にモニタリング・計画の見直しを行っている。計画に無い課題など発生した場合にはその時点で計画を変更するようにしている。		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	7			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		児童発達管理責任者・担当職員が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7		引き渡し時や連絡帳又は保護者を通じて情報の共有を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	2	医療的なケアが必要な子はいませんが、服薬する時には処方箋を基に行っています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7		引継ぎとなる担当者会議に参加させていただくようにしています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7		引継ぎとなる担当者会議に参加させていただくようにしています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7		研修を受けています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	6		少人数にはなるが特性を考慮した上で機会をつくっていききたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	4	管理者・児童発達管理責任者が参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		連絡帳や送迎時・電話にて課題・成長などの変化を共有している。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7		日頃から家庭でのお子様への接し方・保護者の困りごとを伺う様にし、一緒に考えて行く事をお伝えするようになっている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約時・内容変更時などに行っている。	保護者会等で年1回は再度説明出来る機会を設けていきたい。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		日頃から家庭でのお子様への接し方・保護者の困りごとを伺う様にし、必要な時には相談時間を設けて対応をしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	1	支援参観を兼ねたご家族参加の昼食懇談会や保護者会を今年度4回計画、これまでに3回実施。保護者同士の交流の機会に繋がられた。	定期的に開催していく。年間予定をお渡しする
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7		契約時に説明している。苦情に関わらず日頃からお話は丁寧に伺うようにしている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1	毎月活動予定表を配布している。活動の様子をブログ・Instagramで毎月更新している。	
	35	個人情報に十分注意している	7		個人が特定できるものを破棄する際にはシュレッダーにかけている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		それぞれに合った伝え方をしたり、必要な時には正しく伝わっているか確認をしたりするようにしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	4	自治会に所属し、地域行事等に参加できる機会を頂いている。	こども110番など地域の活動に参加できるといい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7		研修を行っています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		年2回避難訓練を実施。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		年2回の研修の他、ニュース等で報じられた事件について周知するようにしています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7		身体拘束適正化委員会にて定期的に研修・振り返りをしています。身体拘束が必要と思われた際には、保護者に事前に必要な手順があることとお話させて頂いて	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7		保護者を通じて対応しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		ヒヤリハット事案があった場合には都度職員に周知し、改善されるようにしています。	